

# 平成 30 年度長崎大学理学療法学同門会総会議事録

日 時：平成 31 年 2 月 9 日 13:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科

総会役員：議 長 角野 恭子氏（医短 16 期）

副議長 山口 晃樹 氏（修士 期）

書 記 中尾 優子 氏（保 5 期）、宮川 洋一 氏（保 7 期）

議事録署名人 福島 卓矢 氏（保 5 期）

## 1. 定数確認

出席者 48 名、委任状 334 名、計 382 名の出席が得られ、全会員総数 677 名の過半数を超えており、会則 18 条により総会の開催は成立した。

## 2. 会長挨拶

## 3. 議長団の選出

議長団の立候補ならびに推薦はなく執行部に一任され、上記の総会役員が選出された。

## 4. 平成 30 年度事業報告

### 1) 事務局(局長：片岡 英樹)：

① 会員動向の把握会員動向の把握(正会員 598 名, 準会員 79 名, 合計 677 名)

② 理事会の開催：

第 1 回(平成 30 年 5 月 18 日)：総会報告, 平成 30 年度事業計画等について

第 2 回(平成 30 年 10 月 11 日)：前期事業報告, 後期事業計画, 卒後セミナー等について

第 3 回(平成 31 年 1 月 24 日)：後期事業報告, 平成 31 年度事業計画について

総会の開催:平成 31 年 2 月 9 日

③ 保健学科 17 期生・院生 13 期生への入会案内及びパンフレットの作成

④ その他:その他:セミナー等案内発送作業(平成 30 年 12 月 21 日), 監査(平成 31 年 1 月 31 日), 総会準備(平成 31 年 2 月 8 日) 等

2) 学術部(部長：坂本 淳哉)：平成 30 年度理学療法学同門会卒後セミナーの開催（平成 31 年 2 月 9 日）

3) 厚生部(部長：大賀 智史)：平成 30 年度理学療法学同門会懇親会の開催（平成 31 年 2 月 9 日）

4) 広報部(部長：井上 恒平)：

① 同門会ニュース第 22 号発行

② 同門会ホームページ(<http://www.doumonkai.org>)の管理・運営及びコンテンツ更新等

③ 同門会 facebook の開設と運営

部長不在のため、部員の田中陽理理事が報告した。

5) 機関誌編集部(部長：本田 祐一郎)：

上記の報告について特に異論なく承認された。

5. 平成 30 年度会計報告（会計：渋谷 美帆子）

別紙（平成 30 年度会計報告および平成 31 年度予算案）参照

- 一般会計：収入については、同門会費の納入（18 名）とメディカルオンラインからの入金があったことが報告された。支出の部については、5 年分の入学記念品の購入により、雑費が超過していることが報告された。
- 特別会計：収入は預金利息のみであったこと、支出はなかったことが報告された。  
上記の一般会計・特別会計の報告について特に異論なく承認された。

6. 監査報告（監事：川副 巧成）

監査は平成 31 年 1 月 31 日、午後 19 時 30 分より長崎大学医学部保健学科において会長、会計、事務局長、監事 2 名（田中 貴子 氏、川副 巧成 氏）の出席により開催した。別紙（監査報告書）参照

- 監査方法：
  - ① 帳票ならびに関係書類を閲覧し、計算書類の正確性を確認した。
  - ② 各種帳票より業務執行の妥当性を確認した。
- 監査結果：
  - ① 帳票その他は正しく整備されており、計算書類は会の収支状況および財産状態を正しく示しているものと認められた。
  - ② 業務執行状況は適切と認められた。
- その他：

今後の同門会事業のさらなる発展に向けて、計画的かつ安定的な収支状況となるよう、会の運営の仕組みづくりに尽力するように指導された。その他、上記の監査報告について特に異論なく承認された。

4. 平成 31 年度事業計画

1) 事務局：

- ① 会員動向の把握
- ② 理事会の開催
- ③ 総会の開催
- ④ 保健学科 18 期生・院生 14 期生への入会案内業務（パンフレット作成等）

2) 学術部：平成 31 年度卒後セミナーの開催

3) 厚生部：平成 31 年度卒後セミナー後の懇親会の開催  
保健学科 18 期生への入学記念品の贈呈

4) 広報部：

- ① 同門会ニュース第 23 号の発行

②同門会ホームページ (<http://www.doumonkai.org>) の管理・運営及びコンテンツ更新等

③同門会 facebook の開設と運営

部長不在のため、部員の田中陽理理事が報告した。

5) 機関誌編集部：理学療法探求第 22 巻の発行、今後の電子書籍化（PDF 化）について

① 本年度より機関誌「理学療法探求」の電子書籍化を開始する。

② 電子書籍化に係る原稿作成に関しては引き続き「株式会社 昭和堂」に依頼する。

③ 電子書籍化した機関誌は「株式会社メテオ（メディカルオンライン）」が管理する「長崎大学理学療法学会同門会の専用ページ」で閲覧・ダウンロードが可能となる。その際、会員専用 ID とパスワード（全会員で共通）が必要となるため、郵送等により会員に周知する。

④ 費用について、PDF での機関誌の作成は 10-13 万円、メディカルオンラインのシステム使用料は無料である。

上記の報告について特に異論なく承認された。

## 5. 平成 31 年度予算案

別紙（平成 30 年度会計報告および平成 31 年度予算案）参照

- 一般会計：収入の部については、同門会費として 540,000 円、卒後セミナーの参加費として 150,000 円、計 690,000 円を予定していることが報告された。支出としては、機関誌の電子化に伴い、印刷代を 150,000 円、通信運搬費を 160,000 円を予定しており、新たに特別会計への繰越金を 50,000 円とし、計 690,000 円を予定していることが報告された。
- 特別会計：収入については、一般会計からの繰越金 50,000 円を予定しており、記念行事などに向けて積み立てていくことが報告された。支出については特に予定がないことが報告された。

上記の報告について特に異論なく承認された。

## 6. その他

1) 内規の追加について：大規模災害時の義援金の拠出について下記の内規を作成することを報告し、承認された。

### 大規模災害時の被災地への義援金の拠出規則

[趣旨]

この規則は、大規模災害時の義援金の拠出について必要な事項を定めるものとする。

[義援金の拠出対象事項]

本会から義援金を拠出することができる事項は以下の場合とする。

日本国内における大地震・大洪水など、広い範囲にわたり、甚大な被害を及ぼす大規模災害が発生した場合に、公的な義援金収集体を通して被災地に対し義援金を拠出することができる。

[義援金の拠出額]

① 義援金の拠出額は被災状況などを考慮して理事会において決定する。

② 義援金の拠出額は緊急を要する場合には三役会議で決定することができる。この場合、会長は後日理事会に報告し承認を受けなければならない。





# 監査報告書

平成31年2月1日

長崎大学理学療法学同門会

会長 中野 治郎 殿

監事 川剝巧成   
監事 田中貴子 

平成30年度の長崎長崎大学理学療法学同門会の業務執行について、以下の通り監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

- (1) 日時：平成31年1月31日（金）／19時30分～20時30分
- (2) 場所：長崎大学医学保健学科理学療法学専攻
- (3) 内容：

中野会長、片岡事務局長、渋谷会計責任者の立会いの下、同会の職務執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、当該会計年度に係る事業報告及びその帳票、計算関係書類（及びその附属明細書）等について監査を行いました。

## 2 監査の結果

- ① 事業報告及びその附属書類は正しく管理されているものと認めます。
- ② 職務の遂行は、適正に行われているものと認めます。
- ③ 当該内部管理体制に関する事業報告の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 監査の結果は良好であると認めます。

以 上